

# 弘経寺だより

## 開山忌

四月十日(土)、麗らかな春の日差しの下、弘経寺開山忌が厳修されました。

大本山増上寺執事長・当山住職 楠美知仁上人お導師のもと、水海道部内のお上人方にご随喜を賜り、開山忌法要をお勤めいたしました。今年も十六名のかわいらしい天童稚児がお練り行列や法要に華を添えてくれました。

私が弘経寺に就任して以来、開山忌に雨が降ったことは一度もありません。この度の開山忌も例外ではなく、四月九日は時々小雨が降り、四月十二日は一日中冷たい雨が降りました。四月十日は晴天でした。「弘経寺は阿弥陀様にお守りいただいている」と感じました。阿弥陀様にお守りいただいているおかげで、無事に開山忌を勤めさせていただきました。ありがとうございます。

第38号 来年四月には浄土宗の開祖・法然上人の八〇〇年御忌が全国の総本山や大本山を中心に開催されるこ

とから当山もその勝縁にあやかり、記念すべき開山忌にしたいと思っております。皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

発行所

寿龜山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895



水子供養



祈り



お稚児さん（お練り行列にて）



子供数珠繰り



子供数珠繰り



稚児灌頂（開山忌法要にて）



楠美知仁住職（お練り行列にて）



開山上人（お練り行列にて）

# 天樹祭

2010年5月  
四月十一日(日)、平成二十二年度の天樹祭が桜色に染まった境内にて開催されました。

世話人さんをはじめ、弘経寺にご縁のある方々にお知恵を拝借し、共に汗を流し運営した天樹祭。昨年の秋に企画をはじめてから、当日に至るまでいろいろと苦労はありましたが、五〇〇〇人も来場者にご参拝いただいたという結果によって「すべてが報われた」そんな心地になりました。これもひとえに共に天樹祭を造っていただいた皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

今年のご来場くださる方々お一人お一人の御心が素敵な天樹祭を造ってくださいますようにと願いを込め「一切唯心造」(私達の存在のすべては私達の心が造る)をテーマとして開催させていただきました。当山の世話人・檀家はもちろんお手伝いくださった方々や演者さん、来場してくださったすべての方々の手によって、四月十一日、天樹祭は美しい作品に仕上がりました。「共に造る」喜びを天樹祭にかかわったすべての方々と分かち合

えたことよって、「一切唯心造」のテーマと共にその最大の目標が達成されました。本当にありがとうございます。また来年の天樹祭でお会いしましょう。



オープニングセレモニー



4月11日(日) 弘経寺参道



今年の一文字



子供献茶式



千姫行列お待ち受け



千姫様ご入場



会津奴隊の皆さん



千姫様ご登壇



境内の賑い



雅楽・琴演奏



雅楽演奏



浄焚の火



薬師祈願



散餅散銭の儀



パネルシアターに見入る子供達



パネルシアター



フルートコンサート



学生ガイド



お香教室



野点茶会

四月七日は餅つきの日でした。朝八時より、飯田喜一さん、飯田孝夫さん、飯田洋子さん、石塚敏正さん、石塚規子さん、稲葉威穂さん、猪瀬雅子さん、海老原正美さん、海老原泰治さん、落合光子さん、高橋博子さん、古谷明美さん、古谷フミエさん、古谷まよさん、古谷正男さん、古谷礼子さん(以上、五十音順)が、開山忌・天樹祭の散餅・散銭の儀のためお餅を作って下さいました。

二ツ谷の石塚良政さんが一俵、小島良則さんと飯田孝夫さんがそれぞれ三〇キらずの餅米を「寄付」くださり、できたお餅の数は二四七二個になりました。

餅米を「寄付」くださった皆さん、また、お餅を作ってくださいました皆さん、本当にありがとうございます。  
お菓子の「寄付」ありがとうございました

飯田博之さん、石塚鉄雄さん、石塚正男さん、小島良則さん、上信堂さん、滝本恵美子さん、広瀬和彦さん、山崎石材さん、渡辺武徳さん(以上、五十音順)が開山忌・天樹祭の散餅・散銭の儀のためのお菓子等を

沢山「ご寄付」くださいました。

開山忌天樹祭の両日、「ご寄付」いただいたお菓子と二四七二個のお餅を、散餅散銭の儀にご参加下さった大勢の子供達に沢山お持ち帰り頂いたことを、何より嬉しく思いました。お菓子を「寄付」くださいました皆様に心より御礼申し上げます。

お手伝いありがとうございました

開山忌・天樹祭準備のために、世話人さんをはじめお檀家の皆様には大変お世話になりました。

四月九日(金)は幕を張ったり、幡や看板を立てたりしました。

四月十日(土)は開山忌終了後、夕方までテント張りを手伝いいただきました。

また、駐車場係の方々・接待係の方々におかれましては、準備から開山忌天樹祭当日までおもてなしの心をもって、誠心誠意おつとめくださいました。

開山忌・天樹祭へご参拝くださる方々が年々増え続けています。これもひとえに、お手伝いくださる皆様のおかげと心より感謝申し上げます。皆様の「協力」が開山忌天樹祭をよりよい行事に育てつつあります。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

清掃当番

四月四日(日) 午前八時より飯沼・横曽根地区担当により清掃作業が行われました。おかげさまで、きれいな境内・堂内に開山忌・天樹祭のお客様をお迎えすることができました。ありがとうございました。

信仰 弘経寺主管 金田大祐

渡辺和子さんは「信仰」というのは、目をつむって溝を飛び越すようなものなのです」というシスターの言葉に励まされ洗礼を受けたとその著書で語っている。浄土宗にも「他力本願」つまり「阿弥陀様にすべてをお任せする」という教義がある。溝の向こう側にいる阿弥陀様の懐に目をつむったままエイッと飛びこめるかといえば、私には怖くて無理である。浄土宗の僧侶でありながら情けない限りである。なぜ飛び込めないか、恐怖があるからである。今という時間を精いっぱい生きていないが故に感じる恐怖。日々だからだと生きているが故に感じる恐怖。為すべきことを為していない

が故に感じる恐怖。これらの恐怖を克服すれば、すべてをお任せして、目をつむって阿弥陀如来の懐に飛びこめるはずである。

「はずである」と言っているうちは今を生きていくことはできない。目をつむって溝を飛び越すような「信仰」を身につけるまでは「本当に生きる」ことを実感することはできない。

五月の写経会 五月二十二日(土)

付	話	経	仏	談
1:45	受	法	写	お念
2:00				懇
2:20				
2:50				
3:10				

会費一〇〇〇円(高校生以下は五〇〇円)  
携行品 小筆(当日受付でも販売いたします)

※毎月第四土曜日に開催しています。どなたでもご参加いただけます。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方々が極楽へ往生されました。

- 二月 一日 松本千代子殿 七五歳
- 三月 七日 片庭静枝殿 八八歳
- 四月二〇日 飯田利雄殿 八〇歳
- 四月二一日 北島裕三殿 八七歳